戴斗翁幼より畫癖ありて唯食喰画而已遂
にかく葛飾の一風を以興して画名世に高し
於茲其門に入て彼をまなふ者多し翁これに
教て曰画ハ師なし唯真を写すへしとかくして
自ら得画し門人ハこれを悲む或ハ翁か言を聞て
翁を誹て曰翁ハ葛飾の一家をなし画祖たり翁か
風を慕ふ徒ハこれより風体を移さん事を欲す然るを翁か
何ぞ他に師なく実を画かん難事の明に輸す
以て規矩をもつてせされハ方員を成す事能はす

北斎漫画八編

翁の門ハ誰に托往翁の臨本代りされハ畫障
風致をも不得何をもまなひ学ふへきやと翁
この言を尊り学し山水人物鳥獣草木堂宇
器財に至るまて筆ある毎に寫し出し上木
しぬ又門人に授て漸くとして八編に達ぬまゝ
序辞を予に議る予画を知されハ画成論せさるを
能はさるよおゐて此編の成る所以を記し以て序辞
に換ことゝ爾り

鋒山題

八編

北斎漫画

提挧勝男木を起

大苫邊尊

大戸之道尊

稚産霊日神（わかむすびのみこと）

黄帝元妃西陵氏（くわうていのげんぴせいりやうし）

唯一作（ゆいいちつくり）

七面作
あくためてかり

棟上具（むねあげのぐ）

漢土（もろこし）

高機圖（たかはたのづ）

五締目鳥居部

二綿目車ノ部
同器

蛾（ひゝる）

蠶（かいこ）

車ノ部

綃織カ綜目鳥居ノ部

田樂法師（でんがくほうし）

無禮講（ぶれいこう）

瞽 めくら

肉 あざ

北斎漫画八編

狂画葛飾振

一 大舜

二 曽参

三 漢文帝

四 閔損

五 仲由

六 董永

七 剡子

八 江革

九 陸績

十 呉猛

九 崔山南

十二 王祥

十三 郭巨

十四 揚香

十五 朱壽昌

十六 庾黔婁

十七 老萊子

十八 蔡順

十九 黄香

廿 姜詩

廿一 王裒

廿二 丁蘭

廿三 孟宗

廿四 庭堅

蝦夷ノ産

エトピリカ

石蜐

ナリカニ

ヨクリカンキリ

山牡丹

黄精

ゴフン、
ゑヨリ。
ビヤクノ。クマ
サキコリ。
エンジ。
ウスクマ

センジ

ビヤクロク。シワウグマ

ビヤクロク。ゴフンカヱリクマ

ビヤクロク。シワウクマ。

スジエンジ

栗ロクセウ。草ノシルクマ

スジゴイーヒヤクロク

ビヤクロク

クサノシルクマ

クサノシル

ビヤク

クサノシル。クマ

ウスニン。エンジクマ。

スジエンジ

同

コフンクマ

タイシヤ。ウスミクマ

キグ。エンジクマ

クサノシルグマ。

同スジガキ

シヤイ

ズミ

黒百合

三角草

ゴフン。
ビヤク。クマ

ゴフン

クサノシル
スジエンジ

キグ。スジ。
ゴフン

クサノシル
同スジガキ

ビヤク。
クサノシルクマ

ヒヤク

クサノシル
クマ

ビヤクロク。
シワウグマ

エンジクマ

コフン
キグ
クマ、

エンジ
クマ

クサノシル
クマ

シワウ

スジ
エンジ

エンジノ
グ

クサノシル
クマ

ヒヤク

大川橋

不忍

溜池

王子

亀戸

洲崎

滝ノ川

感応寺

飛鳥山

駒込不二

目黒

愛宕

芝神明

佃住吉

平井聖天

御茶ノ水

上野

羅漢寺

山王

本牧

隅田川

両国

梅屋鋪

鴻ノ臺

富ヶ岡

吉原

金竜山

行徳

羽根田

佃島

麻布

神田

樸ノ嶋

甲州二ヶ瀬越

伊豆ノ不二

利根ノ遠帆

寝覺

雨後ノ大井川

武蔵野ノ不二

善光寺

竹芝寺古圖

真間ノ入江

香取

飛騨 籠ノ渡

岡嵜橋

足立郷 黒塚

武州 府中 六社

信州 鬼窟

釋迦石
信州
文珠石

相州
姥石

總州
千騎ヶ岩

鸚鵡石
勢州

松浦
望夫石

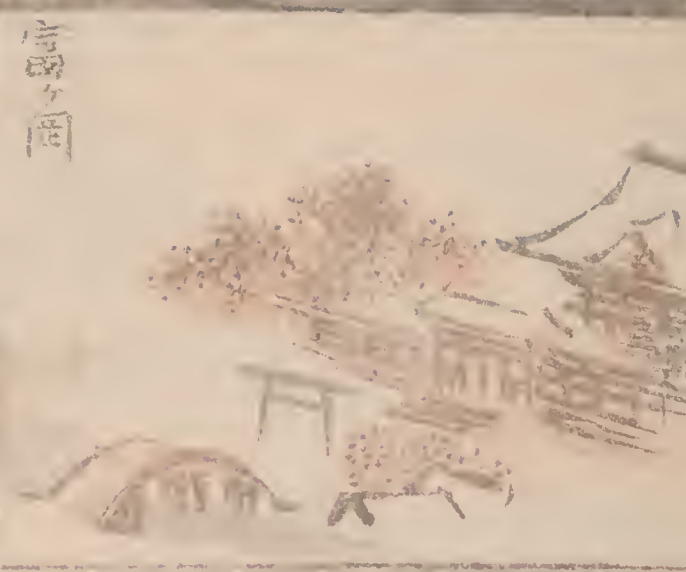
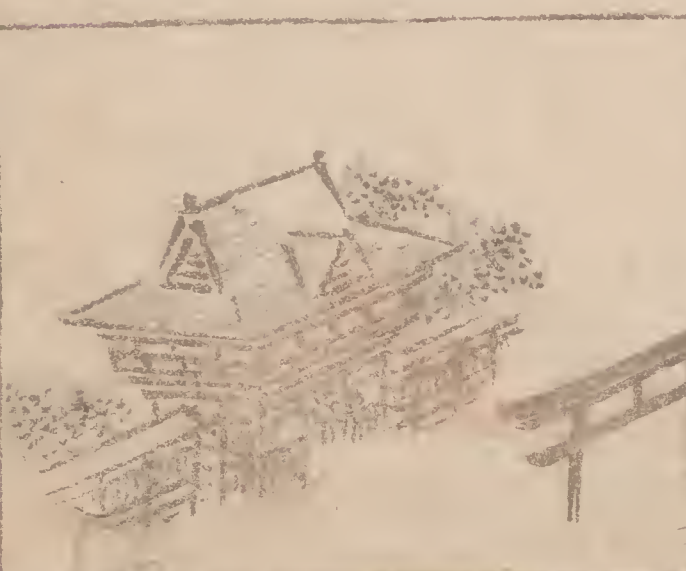
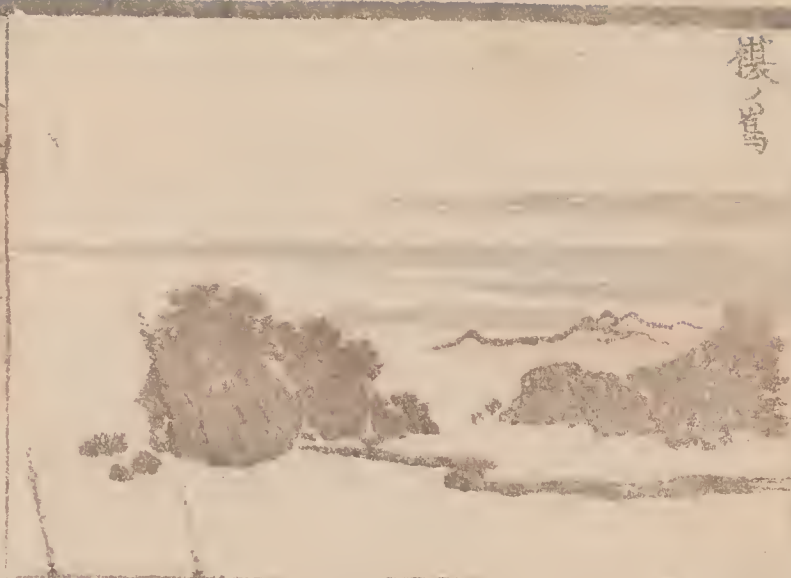
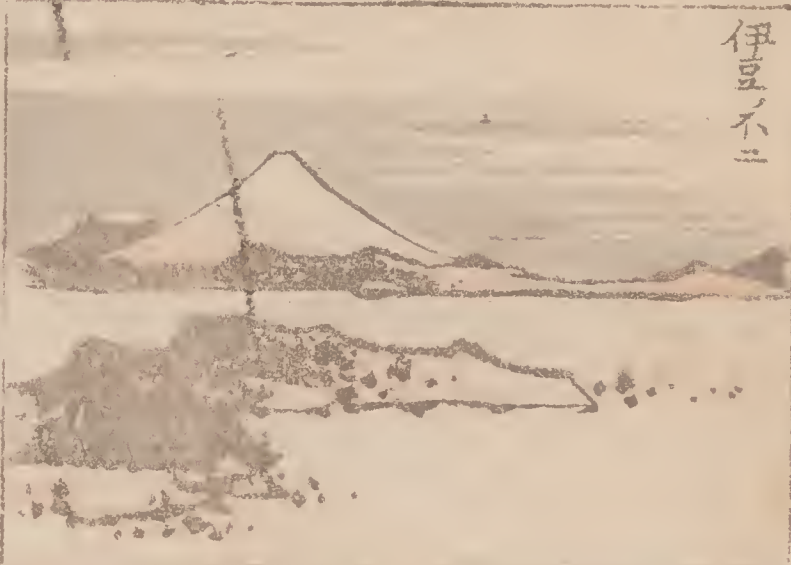
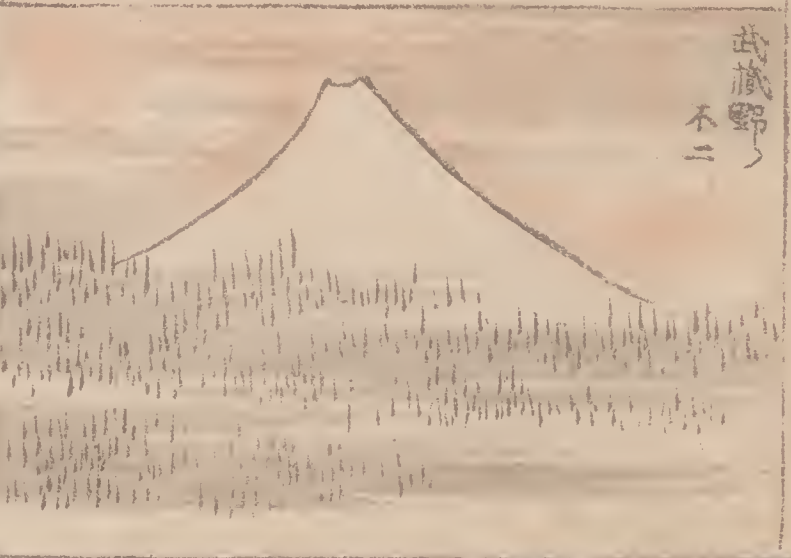
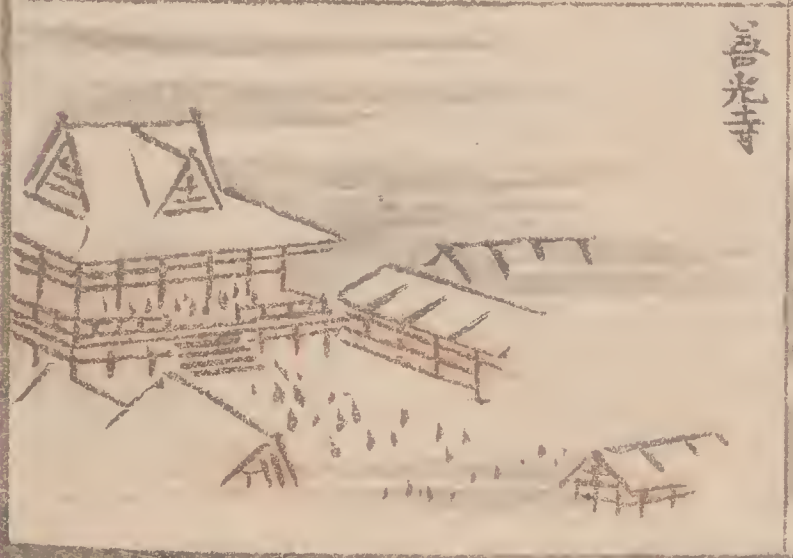
武陽
牛石

大師ノ窟

鍾乳穴

鞍懸岩

葛篭岩

猿ノ座

尾張東壁堂藏板目録

名古屋本町通七丁目
永樂屋東四郎

三體画譜　同画　全一冊
繪本孝經　全二冊

一筆画譜　同画　全一冊
同　嘶山科　全五冊

名家画譜　全三冊
同　春の錦　全二冊

福善齋画譜　全五冊
同　小波櫻　全一冊

豊國画譜　全五冊
同　大江山　全一冊

豊國玉筆　全一冊
同　曽我物語　全一冊

英泉画史　全一冊
同　漢分勇者　全一冊

京都書林
堀川通　伏見屋藤右衛門

大坂書林
心齋橋通　柏原屋與左衛門
同　同　清右衛門
同　河内屋木兵衛
同　糀町四丁目　敦賀屋九兵衛
同　角丸屋甚助

東都書林
日本橋砥石店　大坂屋茂吉
同　新右衛門丁　前川六左衛門

尾陽書林
名古屋本町通七丁目　永樂屋東四郎